

令和8年度東毛地区 【家庭教育支援連携会議】

未来をひらく 家庭教育のつどい

【活動発表】「子ども・若者を幸せにするつながりづくり」

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク 代表 湯浅 やよい 氏



えんたくん とは？

ひざの上に乗せる小さな円卓で、
序列のない対話を生むコミュニケーションツールです。輪になって座り、同じ板を共有することで、
序列のない対等なコミュニケーションが生まれやすくなります。

令和8年7月8日(水)、太田合同庁舎会議用庁舎において、「令和8年度東毛地区未来をひらく家庭教育のつどい」を開催しました。当日は、ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク代表湯浅やよい氏をお迎えし、「子ども・若者を幸せにするつながりづくり」をテーマに実践発表をしていただきました。実践に基づく具体的なお話が多く、参加者にとって今後の活動に生かせる大変充実した内容となりました。また、発表後には、「えんたくん」を活用したグループ協議及びワールドカフェ形式による情報交換会を実施しました。「あったらいいな、できたらいいな」をテーマに、参加者同士が聞きたいことや知りたいことについて活発に意見交換を行い、それぞれの取組や課題について理解を深めることができました。

本事業を通して、参加者相互のつながりを深めるとともに、今後の家庭教育支援や地域における連携の充実につながる有意義な機会となりました。

【参加者の声】

・湯浅さんのお話を聞き、不登校や子どもへの関わり方、保護者の悩みへの対応(1対1の対応、「そうなりたくて入ったわけではない」という考え方)が非常に勉強になり、寄り添った信頼関係の大切さを再認識できた。

・初めて会う団体が多く、それぞれの活動内容や悩み(資金面でのやりくりなど)を共有できて良かった。

・4人でのグループワークや、距離感の近い「えんたくん」を使った意見交換が参加者同士の距離が近くなりよかった。

主催：群馬県教育委員会（東部教育事務所）